

＼使わないなんてもったいない！／

# ジェネリック医薬品



ジェネリックは新薬と同じ効きめなのに、自己負担は減りますよ！

ジェネリック(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許期間が過ぎた後に、他の製薬会社から新薬と同じ有効成分を使って作られます。厚生労働省が定める品質基準をクリアして承認を受けているので、効きめや安全性、品質は新薬と同等であるのに、価格は新薬の2～7割と安いのが特徴です。

ジェネリックに変更してよろしいですか？

ジェネリックって安い薬でしょ？新薬でお願い！



1年間ではこんなにお得です！※医薬品の価格は一例です

高血圧薬(バルサルタン 80mg)の場合

新薬 9,855 円

ジェネリック 2,190 円

自己負担は 7,665 円減！

アレルギー薬(フェキソフェナジン 塩酸塩錠 60mg)の場合

新薬 12,045 円

ジェネリック 2,190 円

自己負担は 9,855 円減！

\*自己負担3割の場合、薬価のみの比較です(平成30年4月現在)。

どうしてそんなに安い?! 色や形が違うのも気になるけど…



長い歳月と膨大な費用をかけて開発される新薬に対し、ジェネリックは開発にかかる費用や時間が少ないため価格も安く抑えられます。

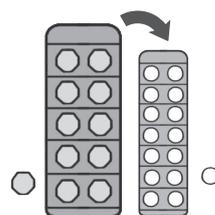
また、新薬と色や形が違うのは、異なる添加剤が使われることがあるからですが、有効性や安全性に違いはありません。むしろ、製造技術の進歩などにより、のみやすく改良されることもあります。

## ●開発にかかる期間と費用

	開発期間	開発費用
新薬	9～17年	数100億円
ジェネリック	3～5年	約1億円

## 改良されたジェネリックも

“ジェネリックにしたら服用が楽になった!”  
という声も!



- 錠剤の大きさを小さくしたり、味やにおいを改良してのみやすく
- 文字や色を工夫して間違っただ服用を防ぐなど

ジェネリックのこと全然知らなかった…  
今回からはジェネリックでお願いします！



\*すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。  
まずは医師や薬剤師にジェネリックへの変更希望を伝えましょう！